

# 法科大学院基準への パブリック・コメントご協力をお願い

日本では、法曹分野における高度専門職業人の養成を担う教育機関として、法科大学院が設けられています。こうした専門職業人の養成を担う「専門職大学院」は、教育の質を保証するため、5年以内に1度、分野別の認証評価※を受けることが法令で義務付けられています。

大学基準協会(JUAA)は、1947年に複数の大学によって設立された大学団体であり、大学の評価を通じて教育の質保証の推進や大学改革に取り組んできました。2002年の学校教育法改正により認証評価制度が導入された2004年度以降は、大学および短期大学の機関別認証評価を実施しています。また、2007年度からは法科大学院の認証評価を行い、教育の質保証・質向上に資する評価に継続して取り組んでいます。

評価を実施するうえで重要な役割を果たすのが、「法科大学院基準(評価基準)」です。本基準には、法科大学院のあり方や望ましい姿が示されており、本協会が行う認証評価における判断基準として用いるとともに、法科大学院自身が自己点検・評価を行い、改善・向上に取り組む際の指針として活用されることを期待しています。

このたび、法科大学院基準の改定を行うにあたり、法科大学院に在籍する学生の皆さまの視点を反映すべく、パブリック・コメントの一環としてご意見を募集いたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## ※認証評価制度とは

大学、短期大学、高等専門学校、専門職大学等及び専門職大学院が、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、定期的(大学、短期大学及び高等専門学校は7年以内ごと、これに加え、専門職大学等及び専門職大学院は5年以内ごと)に、文部科学大臣の認証を受けた評価機関(認証評価機関)の実施する評価を受ける制度のことです。

実施期間：2026年1月6日(火)正午まで

## 意見の 提出方法

### パブリック・コメント について理解する

裏面のパブリック・コメントの実施趣旨などの説明をお読みください。

### 法科大学院基準 を読む

本協会ホームページのNewsへアクセスし、基準(改定案)をお読みください。

### 意見を提出する

パブリック・コメント実施要領にしたがって、意見を提出してください。

詳しくは、本協会ホームページ News「法科大学院基準(改定案)に対する意見の募集について」を参照してください。

<https://www.juaa.or.jp/news/accreditation/>



# 法科大学院基準のパブリック・コメント実施にあたって

今回のパブリック・コメントは、本協会が設定する法科大学院基準について行います。  
以下で、本協会や法科大学院基準の概要について説明します。

## ▶▶大学基準協会(JUAA)とは？

第二次世界大戦後すぐに、当時の国・公・私立大学 46 校を発起校として設立された公益法人です。現在、日本の大学の約 400 の大学・短期大学が会員校となっており、その会費で運営されています(国からの財政・人的な支援は受けていません)。大学・短期大学、各分野の専門職大学院、獣医学教育や歯学教育のあり方を「基準」として明らかにするとともに、大学等が相互に教育状況等を評価し合うことを通じ、高等教育の質保証・質向上に貢献してきました。現在、大学・短期大学、専門職大学院等の評価は法律で制度化され(認証評価)、本協会では大学・短期大学の評価の他、9つの分野の専門職大学院の評価を実施しています。また、調査研究や国際化の事業も実施しています。

## ▶▶「基準」とは？

パブリック・コメントの対象となる法科大学院基準は、法科大学院の教育の水準維持や教育研究活動等の充実・向上を図るための指針です。「基準」と聞くと、なじみにくいかもかもしれませんが、一言でいえば、法科大学院のあり方を関係者が議論し、目指す目標を言葉にしたものです。本協会が実施する評価においてもこの基準が参照されています。

4の基準で構成され、各基準は、「本文」「基礎要件」「評価の視点」から成ります。「基礎要件」は法令遵守事項などを意味しており、具体的には基礎要件データとしてとりまとめています。各基準で求める内容を理解するには、「本文」を読んだうえで、その要素を落とし込んだ「評価の視点」を参照することが必要です。

1 使命・目的

2 教育課程・学習成果、  
学生

3 教員・教員組織

4 法科大学院の運営と  
改善・向上

## ▶▶学生の皆さんから意見を募る理由

学生なくして大学・大学院は成り立ちません。そこで私たちは学生の皆さんから意見を聞き、基準の見直しに役立てたいと考えています。また、自立した主体として研究科・専攻について考え、意見してみることは、学生の皆さんにもきっと大切な意味を持つはずです。海外においても、このことは重視されています。

基準を一読し、「こういうことも書かれているといい」といったことについてご意見をください。直接基準の内容に対してでなくても、たとえば法科大学院の教育、学生に対する支援、学習環境はどうあってほしいかをご意見くださるかたちでも構いません。

## ▶▶パブリック・コメント実施後の流れ

提出された意見を踏まえ、本協会にて改めて審議し、基準を確定します。確定した基準は本協会のウェブサイトにて公表するとともに、文部科学省へ届け出ます。

### 注意事項

提出された意見は、公開される可能性があります。個人を特定できる情報は含めないでください。大学・研究科に対する個人的な要望や大学・研究科または個人を誹謗中傷する内容を含むものは、意見として取り扱いません。